

第 29 回中小企業活性化研究会・交流会（埼玉大会）開催報告

Report on the 29th meeting for the study of small and medium-sized enterprise

1 はじめに

第 29 回中小企業活性化研究会・交流会が平成 25 年 2 月 5 日、和光市に拠点を置く(独)理化学研究所を舞台にして開催された。

テーマは「産学官連携バトンゾーンを技術士チームが伴走 –(独)理化学研究所と中小企業の連携促進に技術士チームが協働して方策を探る–」とした。

2 大会の概要

2.1 見学会

研究会に先立って、午前中は理化学研究所（以下理研という）の、情報基盤センター、また、基幹研究所の超精密加工技術開発チーム、先端工作支援チームをコースに分かれて見学した。参加者は定員 80 名を超える申し込みとなった。



写真 1. 情報基盤センター見学会風景

2.2 研究会

研究会は理研の鈴木梅太郎記念ホールにおいて 13:00 に開会、企業関係者 40 名、関係官庁・団体 35 名、技術士 89 名、技術士補 2 名の合計 166 名が参加した。



写真 2. 研究会会場風景



写真 3. 内村会長の開会挨拶

2.2.1 歓迎挨拶とご来賓挨拶



写真 4. 大江田理事

研究会は日本技術士会内村好会長の開会挨拶から始まり、つづいて、理研理事 理学博士 大江田憲治氏より歓迎挨拶として、理研のバトンゾーン制度の詳細な紹介、また、来賓の埼玉県労働産業部 立川吉朗副部長が、上田清司知事の大会に寄せたメッセージの代読披露、更に経済産業省経済産業局 地域経済部産業技術課 酒寄仁司課長、和光市 松本武洋市長から、大会の主旨に沿った、歓迎と期待、そして行政支援の紹介等のお言葉・ご挨拶を頂いた。



写真 5. 立川副部長



写真 6. 酒寄課長



写真 7. 松本市長

2.2.2 埼玉県支部の活動報告

日本技術士会 埼玉県支部 小野寺昭夫支部長から、埼玉県における技術士活動の経緯紹介と埼玉大会の概要説明、更に埼玉県支部の新組織の紹介等の報告が行われた。

2.2.3 活動報告 1

VCAD システム「計測から評価・予測へとつなぐ技術」：(NPO)VCAD システム研究会理事、(株)トライアルパーク取締役 工学博士 須長秀行氏

VCAD システムは、ものづくりにおける設計、計測、シミュレーション等を統合することを目指して理研で開発されたソフトウェアであり、3 次元の空間及び物体の内部構造を表現し、更に熱流体や構造解析等さまざまなシミュレーションが実施できる応用範囲の広いシステムである。この VCAD システムの計測技術、モデル化技術、解析技術等の紹介があり、具体的な適用事例とソフトウェアの無償公開の支援内

容の報告があった。

2.2.4 活動報告2

「理研研究成果普及および実践のベンチャー企業の事例」: (株)先端力学シミュレーション研究所 会長、兼、新世代加工システム(株)社長 大崎俊彦氏

理研が提唱するバトンゾーンで技術移転を実践する、理研ベンチャー企業の大崎社長から、理研ベンチャー支援制度の概要、現在の理研ベンチャー企業の紹介、理研とベンチャー企業との技術戦略ポイント、また、具体的な産学連携の現状などの説明があり、今後、日本技術士会の活動が産学官連携の推進に期待されるものとしてお話を頂いた。特に、研究者と企業との深い溝について、現状を知り、あえてその中に踏み込むことで成功があると熱く語っていただいたことが印象に残る。

2.2.5 活動報告3

「技術課題相談会の活動」: コラボ産学官埼玉支部 事務局長 友田泰行氏、日本技術士会埼玉県支部 業務委員長 阿津沢潔氏

コラボ産学官埼玉支部は埼玉縣信用金庫が設立した産学官連携組織である。本報告では、このコラボ産学官埼玉支部が設立された社会情勢、背景、技術課題相談会の始まりの経緯が友田泰行事務局長から紹介された。阿津沢潔埼玉県支部技術委員長からは、過去5年間の技術相談会の相談内容の分類・分析についての紹介および相談会を通じて成果が出た事例、今後の課題等が報告された。

2.2.6 閉会挨拶

最後に、日本技術士会中小企業交流実行委員会 川口賢良委員長より閉会の挨拶があり、研究会を終了した。

川口委員長からは今大会の基本テーマの設定に当たっての経緯と共に、公益社団法人となった日本技術士会の新しい中小企業活性化研究会の活動への決意が語られた。

3 交流会

研究会終了後、理研構内の統合支援施設食堂において交流会が開催された。

交流会では、同日に理研で行われていた、VCADシステム研究会の第32回研究会の参加者とも合流し、有意義で盛大な交流会となった。



写真8. 牧野内 VCAD 研究会理事長挨拶と交流会風景



写真9. 友田事務局長の乾杯の音頭及び歓談風景



写真10. 松本市長（左写真、右側）を囲んでの歓談

4 おわりに

中小企業活性化研究会は昭和59年に東京農林年金会館において、参加者35名で第1回が開催された。その後、ほぼ、年1回、関東周辺で開催されてきた。今後は各県支部単位で規模は縮小してもきめの細かい中小企業活性化に向けた取組が継続されることとなっている。

今回の埼玉大会開催に際しては、本委員会委員の他、理化学研究所及び関連官庁の方々のご支援・ご協力を頂いた。深く感謝の意を表したい。